特 集

あのとき君は若かった

誰もが経験する若い頃の過ち。数々の失敗を経て我々は様々なことを学び、反省から修正して改善していきます。それを一般的には「成長」と言います。ところが、障害は修正して改善することはできません。頸髄損傷をはじめとする障害は、その障害を抱えた者が、失敗から学び、自身の障害と折り合うことで「人」として成長するのだと思います。成長という言葉の意味は様々な捉え方をすることができます。体の成長、精神的な成長、知識・技術の習得、記録の更新、本当に様々です。頸髄損傷という障害と突然つき合うこととなったみなさんは、客観的に自分がどのような成長を遂げているのか認識しているでしょうか？昔と今でどう変わってきたかを振り返ったことはあるでしょうか？

自分がこれからどうなっていくのか、どのような人生を進んでいくのか、知る術がない中で、経験豊富なみなさんに、自分を振り返り「Before・After（ビフォーアフター）」を書き記し伝えることをお願いしました。教訓、道標、様々な意味合いにとれる内容になっております。どうぞご覧あれ！

（宮野　秀樹）